

## 第IV部 毎月勤労統計調査特別調査結果の概要

### 1 賃金の動き

#### (1) きまって支給する現金給与額

令和3年7月におけるきまって支給する現金給与額は、調査産業計で2年前比1.9%減の198,532円となった。これを男女別にみると、男性は1.2%増の278,257円、女性は0.5%増の145,162円となった。(表1、図1)

#### (2) 特別に支払われた現金給与額

令和2年8月1日から令和3年7月31日までの1年間に特別に支払われた現金給与額は、調査産業計で2年前比15.9%減の258,042円となった。これを男女別にみると、男性は11.2%減の384,577円、女性は15.7%減の172,442円となった。

また、年間特別給与支給割合(7月の月間きまって支給する給与に対する年間の特別に支払われた給与の割合)は、調査産業計で1.30か月分(前年1.52か月分)となった。(表2、図2)

表1 産業、性別きまって支給する現金給与額

産業、男女別	規模1～4人事業所		
	円	2年前比	
		%	%
調査産業計	198,532	△ 1.9	(11.4)
男	278,257	1.2	(9.9)
女	145,162	0.5	(3.2)
建設業	289,365	8.5	(2.2)
製造業	201,590	△ 1.9	(9.9)
卸売業, 小売業	202,393	△ 5.8	(23.8)
宿泊業, 飲食サービス業	92,873	6.6	(△ 3.8)
生活関連サービス業, 娯楽業	160,249	0.6	(11.2)

注) ( )内は、令和元年調査の前年比の数値である。

図1 産業、性別きまって支給する現金給与額

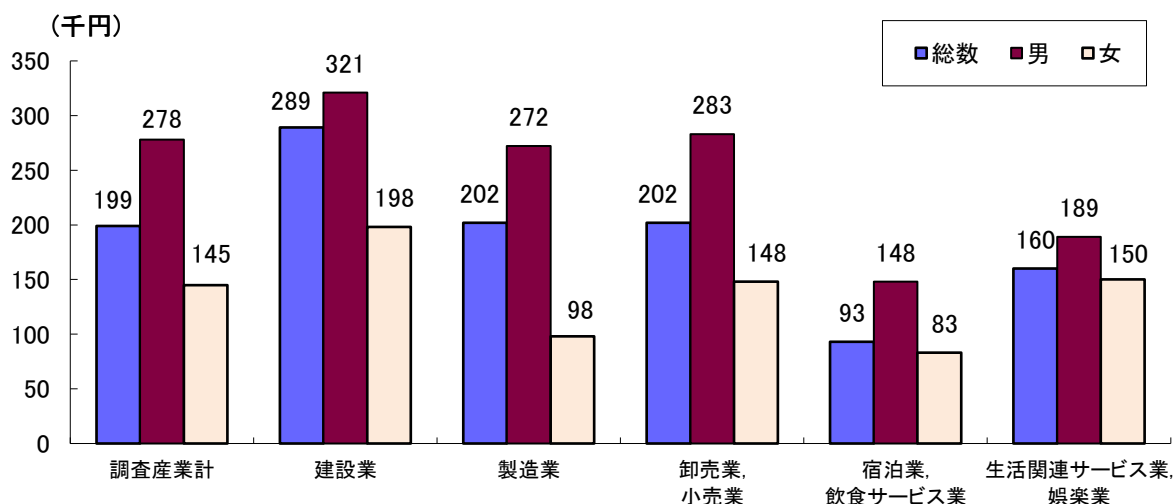


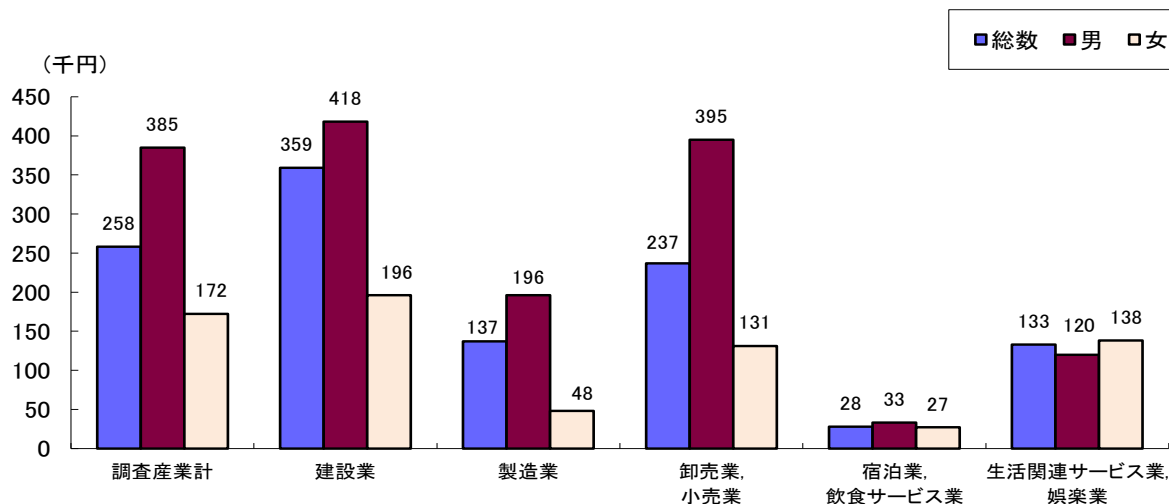
表2 産業、性別年間に特別に支払われた現金給与額

産業、男女別	実 額	2年前比		支給割合 か月分	2年前差 か月分
		円	%		
調 査 産 業 計	258,042	△ 15.9	(38.9)	1.30	△ 0.22
男	384,577	△ 11.2	(32.5)	1.38	△ 0.19
女	172,442	△ 15.7	(30.8)	1.19	△ 0.23
建 設 業	358,716	△ 10.7	(94.3)	1.24	△ 0.27
製 造 業	137,158	△ 70.3	(195.5)	0.68	△ 1.57
卸 売 業, 小 売 業	237,012	1.3	(19.9)	1.17	0.08
宿泊業, 飲食サービス業	28,040	△ 52.9	(68.0)	0.30	△ 0.38
生活関連サービス業, 娯楽業	133,229	58.8	(40.4)	0.83	0.30

注：1) 年間に特別に支払われた現金給与額は、勤続1年以上の常用労働者について令和2年8月1日から令和3年7月31日までの1年間に支給された額を集計したもので、賞与のほか、ベースアップの差額追給分等を含む。

2) ( ) 内は、令和元年調査の前年比の数値である。

図2 産業、性別年間に特別に支払われた現金給与額



## 2 出勤日数と労働時間の動き

### (1) 出勤日数

7月における出勤日数は、調査産業計で2年前差0.2日減の20.1日となった。これを男女別にみると、男性は0.1日増の21.3日、女性は0.3日減の19.3日となった。(表3、図3)

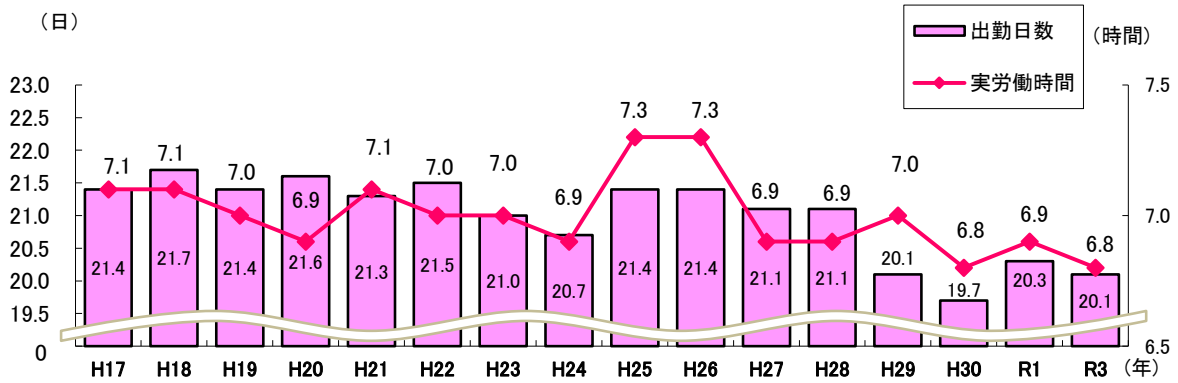
### (2) 実労働時間

7月における通常日1日の実労働時間は、調査産業計で2年前差0.1時間減の6.8時間となった。これを男女別にみると、男性は0.1時間減の7.5時間、女性は令和元年と同水準の6.3時間となった。(表3、図3)

表3 産業、性別出勤日数及び通常日1日の実労働時間

産業、男女別	出 勤 日 数		実 労 働 時 間	
		2年前差		2年前差
調 査 産 業 計	日	日	時間	時間
男	20.1	△ 0.2	6.8	△ 0.1
女	21.3	0.1	7.5	△ 0.1
建 設 業	19.3	△ 0.3	6.3	0.0
製 造 業	22.0	0.2	7.5	△ 0.1
卸 売 業, 小 売 業	21.2	1.4	6.7	△ 0.1
宿泊業, 飲食サービス業	21.3	0.3	6.9	△ 0.3
生活関連サービス業, 娯楽業	16.8	△ 1.3	5.6	0.4
	19.2	△ 0.4	7.0	0.1

図3 出勤日数及び通常日1日の実労働時間



### 3 雇用の動き

#### (1) 常用労働者数

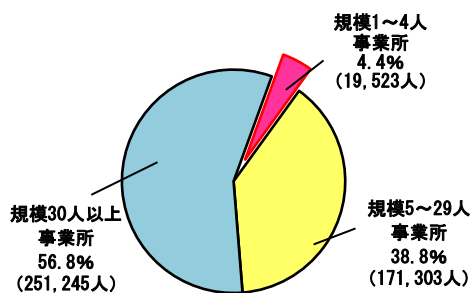
7月末の常用労働者数は、調査産業計で2年前比0.7%減の19,523人となった。これを男女別にみると、男性は10.2%減の7,829人、女性は6.9%増の11,694人となった。

女性常用労働者の割合は4.2ポイント増の59.9%となった。(表4、図4、図5)

表4 産業、性別常用労働者

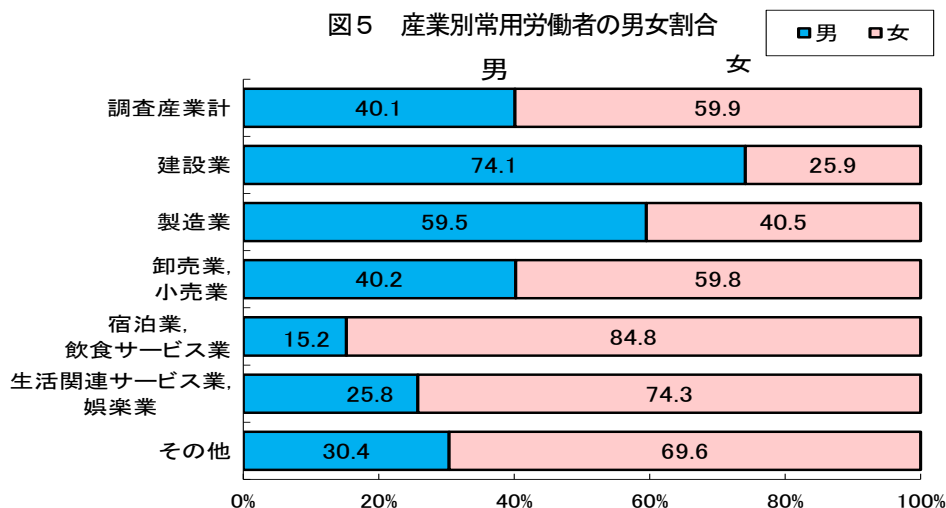
産業、男女別	規模1~4人事業所	
	人	2年前比 %
調査産業計	19,523	△ 0.7
男	7,829	△ 10.2
女	11,694	6.9
建設業	3,007	5.7
男	2,229	2.4
女	778	16.3
製造業	1,122	△ 31.9
男	668	△ 21.6
女	454	△ 42.9
卸売業、小売業	5,716	19.2
男	2,296	0.2
女	3,420	36.6
宿泊業、飲食サービス業	1,378	△ 24.0
男	210	288.9
女	1,168	△ 33.6
生活関連サービス業、娯楽業	2,064	46.7
男	532	41.5
女	1,533	48.8

図4 規模別常用労働者数とその割合



(注)規模5人以上の常用労働者数は、毎月勤労統計調査地方調査(令和3年7月)による。

図5 産業別常用労働者の男女割合

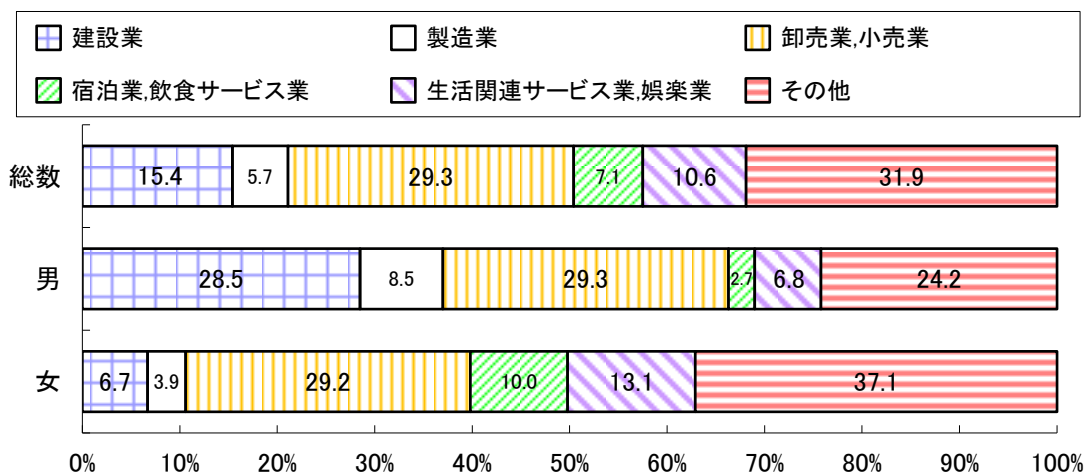


## (2) 常用労働者の産業別構成比

総数では、「卸売業，小売業」が29.3%と最も多く、次いで「建設業」の15.4%、「生活関連サービス業，娯楽業」が10.6%、「宿泊業，飲食サービス業」が7.1%、「製造業」が5.7%の順となった。

男性常用労働者では、「卸売業，小売業」が29.3%と最も多く、次いで「建設業」が28.5%、女性常用労働者では、「卸売業，小売業」が29.2%と最も多く、次いで「生活関連サービス業，娯楽業」が13.1%となった。(図6)

図6 男女別常用労働者の産業別構成比



注：「その他」とは、「鉱業，採石業，砂利採取業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「運輸業，郵便業」、「金融業，保険業」、「不動産業，物品賃貸業」、「学術研究，専門・技術サービス業」、「教育，学習支援業」、「医療，福祉」、「複合サービス事業」、「サービス業（他に分類されないもの）」の合計である。

## 4 全国との比較

### (1) きまって支給する給与

きまって支給する現金給与額は、全国は199,902円であったのに対し、富山県は198,532円で全国を1,370円下回った。(表5)

### (2) 特別に支払われた給与

年間の特別に支払われた現金給与額は、全国は253,157円であったのに対し、富山県は258,042円で全国を4,885円上回り、年間特別給与支給割合でも全国1.27か月に対し、富山県1.30か月で全国を0.03か月上回った。(表5)

### (3) 出勤日数

月間出勤日数は、全国は19.3日、富山県は20.1日で、全国を0.8日上回った。(表5)

### (4) 実労働時間

通常日の実労働時間は、全国は6.8時間、富山県は6.8時間で、全国と同水準であった。(表5)

表5 全国比較（調査産業計）

	富山県 (A)	全国 (B)	比較 (A - B)
きまって支給する現金給与額	198,532円	199,902円	△ 1,370円
年間特別に支払われた現金給与額	258,042円	253,157円	4,885円
支給割合	1.30か月	1.27か月	0.03か月
出勤日数	20.1日	19.3日	0.8日
通常日の実労働時間	6.8時間	6.8時間	0.0時間
常用労働者数	19,523人	1,670,218人	—